

令和7年度 特色ある区づくり予算について
区役所企画事業案に対する意見と担当課の対応

当日配布資料 1

整理番号	事業名	区役所企画事業案に対する意見	担当課	担当課の対応
1	やさしい区役所推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の区役所2階の変更はとても良い。健康センター棟の2階も明るい雰囲気にしてもらえるとう良い。 ・土足禁止の靴を脱いで上がるエリアが整えられると親御さんとしても嬉しいと思う。 ・今年度行ったレイアウト変更はプライバシーの保護などに効果があったと思う。健康センター棟も効果のある改修がされるといい。 ・説明の中で、窓口件数が多いとのことだったが、窓口申請のオンライン化を進めれば、窓口件数は減らせるのでは？ 	総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・健康センター棟は検診等の事業を実施しており、幅広い年代の方々が来庁されるため、明るい雰囲気の中で安心して過ごせる待合スペースづくりに取り組めます。改善が必要な箇所を洗い出し、優先順位をつけて実施していきます。 ・市では、デジタル化基本方針に基づき処理件数の83%をオンライン化しています。残り約1,800の行政手続についてもオンライン化を進めていきます。
2	住民バス利用促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会からも例年要望があると思うが、内野駅までの延伸してほしい。 ・来年度のキャンペーンの際には、観光なども視野に入れて、土日運行も検討してほしい。 ・無料試乗キャンペーンよりも、「なぜバスに乗らないのか」をアンケート調査をした方が有効ではないか。利用者の声を直接聞くことで、改善点や潜在需要の把握ができ、長期的な解決策が見いだせると思う。 ・定期利用が少ないことも踏まえると、再度のニーズ分析を行い、持続可能かつ根本的な問題解決につながる施策の検討が重要である。 ・バスから電車の乗換だけでなく、バスからバスへの乗換ももっと周知されると良い。 	地域課	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ佐潟バスは、コミュニティ佐潟バス運営委員会が運行する住民バスであり、運賃収入、市の補助金のほか、不足分を地域住民で負担して運営しています。 ・今年11月に無料試乗キャンペーンを実施し、多くの小、中学生から試乗していただきました。今後はアンケートを実施し、結果をコミュニティ佐潟運営委員会と共有しながらニーズを分析するとともに、いただいたご意見も含め運行の検討をしていきます。
3	海の賑わいスポーツマイルプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・区づくり予算事業という意味で、西区らしく海のスポーツに着目した点はとても良い。ただし、健康増進が図れるとは言い切れない種目が多い点や、安全や危機管理が難しいという点には注意すべきである。 ・遠泳などの地域に古くからあるスポーツ振興にも取り組むべきではないか。 ・SUPのみならず、多様なマリンスポーツを幅広く振興していけると良い。 	地域課	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施においては安全指導を徹底するとともに、ビーチで気軽にできる、さまざまなアクティビティを取り入れることで、幅広い世代の皆さまに楽しみながら体を動かす機会を提供していきます。

令和7年度 特色ある区づくり予算について
区役所企画事業案に対する意見と担当課の対応

当日配布資料 1

整理番号	事業名	区役所企画事業案に対する意見	担当課	担当課の対応
4	地域と大学連携事業	<ul style="list-style-type: none"> ・学生が地域に入り込むことで地域の活性化に繋がり、将来西区で活動するプレイヤー(人材)を発掘、育成する側面も持ち合わせている、いわゆる未来への投資スタイルの良い取り組みだと思う。それゆえに、事業費の縮小イコール今後の本事業の規模縮小を意味するのではないかと危惧する。 ・地域を盛り上げるために、若者のエネルギーをより積極的に事業で発揮できるよう、特定の大学だけではなく、より多くの大学・学校が参画できるよう進めて欲しい。 ・何をしていくかは以前より明らかになったが、予算額に対して成果が見えない、出していない点は問題である。 ・今年度の取組の一つである、内野駅前のイルミネーションでの賑わいづくりについて、本当に効果があるのか、大学の先生主導でやって意味はあるのか？ ・「課題に対して専門性の高い先生にお願いする」形で実施するのが良いのではないか。(以前市と大学の取組がこのような形式で行われた際は高評価であった。) ・「単年度で地域活動を行い成果まで出す」という本事業の立て付け自体に厳しい側面があるのではないか。 ・連携の実績づくりが主たる目的であるとすれば、すでに連携活動を行っている先生の事業に区から「お墨付き」をあげる形で連携していくのが良いのではないか。 ・現在は実績作りの段階ということで、連携しやすい新大の先生が対象となっているが、ゆくゆくは新大のみに限らず、他の大学にも連携の輪を広げていけると良い。 ・本事業が学生へ十分な周知をされているように感じない。「学生から」事業を提案する機会は今後あるのか？ ・大学の先生や学生という肩書などにこだわらず、もっと広く色んな規模で事業や活動ができるようになると良い。 	地域課	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、これまで実績のある新潟大学と委託契約を締結しましたが、令和7年度は公募により実施し、募集対象を西区内の大学に拡げ、大学と地域の連携実績を着実に増やしつつ、いただいた意見も参考にしながら、成果指標の設定や事業実施のアプローチの仕方等も検討していきます。
5	Meetup!NiigataWEST2040	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容は以前より定まっているが、予算額に見合った成果が見えないため、広く区民に成果を説明できるように事業を進めていく必要がある。 ・大学に行っていない人は多くおり、世の中をそういった人たちが動かしていることも考えると、多様な主体が関わり合うコミュニティを作ることができる本事業には期待する面もある。 	地域課	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な主体で構成されているコミュニティが、地域のにぎわいづくりや、課題解決に自立的に取り組むことを事業目標としていますが、コミュニティづくりや人材プレイヤーの育成には相当の時間を要するものと考えます。 ・今後は市ホームページやSNSを活用しながら、動画等も交えて、交流イベントの様子やグループワークの内容など、活動の様子を発信し、新しいプレイヤーの獲得につなげていきます。